

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

平成22年度

施設評価調書

**施設の名称……市営 多々戸
温水シャワー施設**

所管担当課……観光交流課

平成22年1月

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設		2 担当課 担当係	観光交流課 観光戦略係		
3 所在地	下田市吉佐美58番地の7		4 設置年月	昭和61年10月20日		
5 総合計画の 位置付け	Ⅲ 勢いと活力づくり	訪れたいまちづくり		観光		
	施策体系	観光環境の整備		観光関連施設の整備		
	主要事業	観光施設整備事業		観光施設の整備		
6 設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る					
7 設置根拠	下田市営多々戸温水シャワー施設の設置及び管理に関する条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 66㎡				
		木造平家建 (一部鉄筋コンクリート造) シャワー室6室 コインタイマー式(無人施設)				
	実施事業の概要	多々戸海岸の海水浴に隣接した温水シャワー施設を観光客及び地元住民が施設利用することに伴い施設衛生管理及び清掃をする。				
	料金体系	料金区分	1回 5分以内 200円			
		主な料金	多々戸温水シャワー使用料			
		減免内容	条例 第5条 市長は、公益上必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。 規則 第4条 温水シャワーの使用料を減免することができる範囲は、次のとおりとする。 (1) 下田市が主催する行事をするとき。 (2) 公共団体又は公共的団体が使用するとき。 (3) その他市長が特別の理由があると認めるとき。			
	利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営				
		<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者			
		<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容			
直接従事職員	下田市職員数 委託団体職員数		臨時業務員1人			
9 市内の類似施設	下田市所有	白浜大浜公衆トイレ				
	民間所有					

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成21年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 12年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	15,680,000円	建物減価償却後残高		1円	
	財源内訳		耐用年数12年(s61.10~h10.9) 木造(公衆浴用)で期間算定			
	県支出金	3,900,000円	市債残高		0円	
	市債	0円				
	一般財源	11,780,000円				
寄附金等	0円					
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度予算
	収入	温水シャワー使用料	3,732,100	3,625,400	3,416,900	3,700,000
	収入合計		3,732,100	3,625,400	3,416,900	3,700,000
	支出	07節 賃金	1,148,700	1,148,700	1,148,700	1,158,000
		11節 消耗品費	18,605	44,735	34,776	20,000
		11節 燃料費	222,010	284,370	181,614	297,000
		11節 光熱水費	179,899	184,507	198,179	210,000
		11節 修繕料	106,836	142,065	412,020	400,000
		12節 火災保険料等	30,378	30,238	30,238	33,000
		22節 補償補填費	1,000	1,000	1,000	1,000
	支出合計		1,707,428	1,835,615	2,006,527	2,119,000
	減価償却費		-	-	-	-
	市債利子		-	-	-	-
	下田市負担年間総経費		△2,024,672	△1,789,785	△1,410,373	△1,581,000
備考	○ 人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度予算
		利用者数	18,682人	18,074人	16,997人	18360人
		参考:利用単位当たり市利益額	△108.38円	△99.03円	△82.98円	△86.11円
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	開場期間	年中無休				
使用時間	午前8時から午後5時まで					
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	利用者数の目標値	人	18,400	18,700	18,500	18,500
	〃の実績	人	18,682	18,074	16,997	
	目標達成度	%	101.5	96.6	91.8	
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 端的に表わす成果指標が無い為、利用者数の過去最大値を代替指標として用いる					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の海浜利便の向上				
		観光の振興				
代替指標	施設利用者数					

(参考)

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標		区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
活動指標①	目標指標 4月～6月シャワー利用者	目標値	人	3,200	3,000	3,000	3,200
		実績値	人	3,025	2,830	3,274	
		達成度	%	94.5	94.3	109.1	
目標指標の考え方	19～20年度は18年度実績値に基づいて設定。 21年度は20年度実績値に基づいて設定。 22年度は21年度実績値に基づいて設定。						
活動指標②	目標指標 7月～8月シャワー利用者	目標値	人	8,800	8,600	8,900	8,800
		実績値	人	8,541	8,790	7,318	
		達成度	%	97.1	102.2	82.2	
目標指標の考え方	19～20年度は18年度実績値に基づいて設定。 21年度は20年度実績値に基づいて設定。 22年度は21年度実績値に基づいて設定。						
活動指標③	目標指導 9月～3月シャワー利用者	目標値	人	6,400	7,100	6,600	6,500
		実績値	人	7,116	6,454	6,405	
		達成度	%	111.2	90.9	97.0	
目標指標の考え方	19～20年度は18年度実績値に基づいて設定。 21年度は20年度実績値に基づいて設定。 22年度は21年度実績値に基づいて設定。						

平成22年度

施設名（愛称名）	下田市営多々戸温水シャワー施設
----------	-----------------

番号	12
----	----

2 効率性

		区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	
効率性		施設の総利用者数等①		人	18,682人	18,074人	16,997人	18,500人	
		年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	1,707,428	1,835,615	2,006,527	2,119,000	
		利用単位当たり経費	②÷①	円/人	107.06	91.39	101.56	114.54	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等に用いた指標について記載してください。		温水シャワーのコイン料金の5分以内一回200円を一人分として考える為、シャワーメーター使用番号を差し引きし回数をだしそれに100円を掛けた金額を200円で割った分が利用人数		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。					
その他の指標				区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
目標指数①	目標指数の考え方	光熱水費	目標値	円	220,000	210,000	210,000	210,000	
			実績値	円	179,899	184,507	198,179		
			達成度	%	122.29	113.82	105.96		
目標指数の考え方		電気 水道の料金を節約することで効率性を計る							
目標指数②	目標指数の考え方	賃金	目標値	千円	1,158	1,158	1,158	1,158	
			実績値	千円	1,148	1,148	1,148		
			達成度	%	100.87	100.87	100.87		
目標指数の考え方		臨時職員の賃金を抑えることにより効率性を計る							
目標指数③	目標指数の考え方	燃料費	目標値	円	170,000	297,000	297,000	297,000	
			実績値	円	222,010	284,370	181,614		
			達成度	%	76.57	104.44	163.53		
目標指数の考え方		灯油の使用を節約することで効率性を計る							

		区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度
受益者負担の適正性	①有料部分の年間経費		使用料等を徴収する部分の年間経費	円	1,707,428	1,835,615	2,006,527
	②受益者負担額		施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	3,732,100	3,625,400	3,416,900
	③受益者負担比率		②÷①	%	218.58%	197.50%	170.29%
	④補正受益者負担額		減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	—	—	—
	⑤補正受益者負担比率		④÷①	%	—	—	—

【参考】

		年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
運営に掛かる税負担（市民負担）	人口（4月1日：人）		26,197	25,802	25,549	25,224
	人口1人あたり（円/人）	運営経費（収入除く）	—	—	—	—
		年間総経費	—	—	—	—

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

施設の現状分析

	判断視点	項目	施設の状況	
施設方向性の判断視点	①	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	基本的には、適正な利用はされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	住民、海水浴客の利便性に寄与している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	将来に渡り、必要不可欠な施設と考えている。
	②	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	計画は立てていないが、修繕が必要な場合、その度に対応している。
			施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	管理人を雇用しており、毎日の利用日誌を付けている。
	③	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	特に競合はしていない。
			民間においても十分可能な施設なのか	民間でも可能であるが、受益者負担や維持管理の面から考えると市営が望ましい。
	④	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	現在の利用の中で、特に問題は出ていない。
			同種施設との比較、近隣施設と比較してどうか	近隣の民営シャワーは相場が300円程度であり、市営施設として適切な使用料である。
			計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	計画利用者数は出していないが、年々減少傾向にある。
			施設の耐用年数は何年有るのか	耐用年数は経過している。
			施設の今後の維持経費の算定はどうか	現状、小規模修繕で対応しているが、将来的には大規模な改修が不可欠である。
行政規模からの判断視点	①	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	小規模な修繕予算で対応しており、支出としては妥当。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設の抜本的改修を行いたい、現状では適切である。
	②	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	海岸のある地域だけの施設であるので、特に見直しの必要はないと考えている。
	③	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	特になし。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	耐用年数は経過している、財政状況を考慮しつつ、計画的に改修を進めたい。
			地域、民間に譲渡できないのか	設置されている場所が市有地であり、管理上の責任から民間への譲渡は考えにくい。
			施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	各海岸になれば意味がなく、統合は不可能。
その他				

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市営多々戸温水シャワー施設

番号 12

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	妥当であると考えている。
	受益者負担の妥当性	同上。
	実施主体の妥当性	同上。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	現状の運営を継続していく。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	施設、機器類の修繕できれば利用者数の向上に結びついていく可能性あり。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	妥当であると考えている。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	同上。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	無し。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	管理人の現場での対応に任せている現状である。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	管理人の対応によって対応したい。

平成21年度事業内容及び見直し事項

事業内容	機械類の故障が多発した為、今後ある程度の予算が必要になってくる可能性がある。
見直し事項	管理委託制度の条例を改正する。→平成17年9月議会 平成18年度から直営管理

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市営多々戸温水シャワー施設

番号 12

施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1	シャワー室ドア蝶番の塩害による腐食	単価 8,400 円	B、D 室は 19 年度に修繕済
2	施設周辺コンクリート舗装部分の老朽化	39,000 円	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input type="checkbox"/> 現状のまま継続等 <input type="checkbox"/> 縮小等による見直し <input type="checkbox"/> 統廃合を進める	<p>(具体的な内容)</p> 施設設置による公益性と利便性が高まっており、今後も存続していく為の改修が必要であると考えている。
--------	--	--